

公営企業の抜本的な改革の取組状況（令和7年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
糸魚川市	下水道事業	特定環境保全公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
			●		●		

抜本的な改革の取組状況

取組事項

(下水道事業) 広域化等

実施済

●

(実施類型)

汚水処理施設の統廃合

●

処理場廃止あり

処理場廃止なし

●

公共下水・流域下水の統合

公共下水同士の統合

集落排水・公共下水との統合

特環下水と公共下水との統合

●

その他

農業集落排水と特環下水との統合

(取組の概要)

きっかけは、平成22年度に策定した下水処理場維持管理基本計画でいくつかの接続・統合スケルトン案が示されたこと。能生谷地区農業集落排水処理施設を特定環境保全公共下水道の能生処理区に編入し、汚水処理施設の合理化を図った。

(実施(予定)時期)

令和

3

3

31

年

月

日

実施予定

汚泥処理の共同化

維持管理・事務の共同化

最適な汚水処理施設の選択(最適化)

(取組の効果額)

9.3

百万円(年)

(取組の効果額内訳)

維持管理費

年

+80万円

建設費

年

△1,010万円

計

年

△930万円

検討中

(取組の概要)

(検討状況・課題)

取組事項		民間活用（包括的民間委託）													
実施済		（取組の概要） 技術者の確保・技術継承や人口減少に伴う料金収入の減少などが課題であり、持続的な経営を確保するため、ガス事業譲渡と上下水道事業包括委託（ウォーターPPPレベル3.5）を一体で取組むこととし、令和9年度からの事業譲渡と包括委託の開始に向けて令和7年度にプロポーザル公募による事業者選定を予定している。 （取組の効果額） 百万円（年）	（（実施済のみ）性能発注内容） （取組の効果額内訳） 効果額未算定 （検討状況・課題）	（実施（予定）時期） <table><tr><td>令和</td><td></td><td></td></tr><tr><td>9</td><td>4</td><td>1</td></tr><tr><td>年</td><td>月</td><td>日</td></tr></table>			令和			9	4	1	年	月	日
令和															
9	4	1													
年	月	日													
実施予定	●														
検討中															